

国・県・市の共同で、小・中すべての学年で 35 人学級を!

少人数学級は子ども・教師にも効果抜群 教育委員長～「子どもたちが楽しくいきいきと学べ、個に応じたきめ細かな指導ができる」

日本共産党は、小・中学校の全ての学年で 35 人学級の実現を求めてきました。熊本市では、国基準(小 2)に上乘せをして、小学 1～4 年、中学 1 年生で 35 人学級を実施しています。3 月議会の益田牧子議員の質問に対して、教育委員長は「少人数学級の導入により、学習に対する意欲の高まりや豊かな人間関係づくりができており、教師については、子どもに向き合う時間が増え、授業中に子ども 1 人ひとりの学習の理解度を把握し、それに合わせた指導ができています」と述べました。教育長は、「全学年での導入には、約 14 億円と試算している。国の動きを注視する」と答弁しました。

小学 4 年生への 35 人学級に関するアンケート (2010 年度)

	35 人学級前	35 人学級導入後
授業中発表することが多い	32.3%	47.9%
授業中、友達に教えたり、教えてもらったりすることが多い	42.1%	55.6%

現在の熊本市独自の 35 人学級予算は 3 億 7990 万円

項目	小学 3、4 年生	中学 1 年生	合計 (予算)
人件費	1 億 7600 万円 (44 人分)	1 億 2800 万円 (32 人分)	3 億 400 万円 (76 人分)
プレハブ経費	1～4 年生 5208 万円 (19 教室)	中学 1 年 2382 万 7 千円 (11 教室)	(予算額) 7590 万円 (30 学級)
合計	2 億 2808 万円	1 億 5182 万円	3 億 7990 万円

「今こそ国民の力を合わせ少人数学級の推進を」党提言

日本共産党質問に安倍首相が「35 人学級の実現に向け努力」表明

35 人学級は、2011 年 3 月、全会一致で法律に盛り込まれました。安倍政権になり、政府・財務省により、2013 年も、2014 年も 35 人学級への動きが止められました。2015 年度予算編成では、「小学 1 年生も 40 人学級に戻せ」「教員をもっと減らせ」という議論が政府内で起こり、文科省も 35 人学級推進予算の概算要求すら見送りました。日本共産党は繰り返し、少人数学級を求め、はじめて安倍首相は、日本共産党の質問に、「35 人学級の実現に向け努力をしていきたい」と注目すべき答弁をしました。

3 月 2 日、日本共産党は、少人数学級の提言を行いました。(一部を紹介します)

- * 全学年で実施する～必要な予算は、完成年度でも政党助成金の 1 / 6
- * 将来的には、30 人以下学級をめざす
- * 高校等の少人数学級、子どもの変化に応じた教職員の定数化を進める
- * 教職員の「超多忙化」「非正規化」の解消を進め、少人数学級による定員増
- * 地方から安倍政権に対して、少人数学級推進の大きな波をおこす

全国最低の熊本県 35 人学級(小学 2 年生)拡充を!

全国では、国の制度で小学 1 年(予算措置小 2)だけでなく、自治体独自に 35 人以下学級を実現。下表の 10 府県では、中学校 3 年まで少人数学級を実施しています。熊本県は、国並みの全国最低レベルに止まっています。国や熊本県に対して、全ての学年での少人数学級の実現を働き掛けましょう。

35 人以下学級の小中学校全学年実施の府県()内は、少人数授業との選択制や条件付き
山形、(福島)、(山梨)、長野、(静岡)、(京都)、鳥取、山口、(香川)、(愛媛)

市議団で力を合わせて、みなさんの声を届けてきました

粘り強く「住民が主人公」の政治求めて！

益田牧子



30歳代から、あっという間に過ぎた7期28年でした。市民の皆さんと共に、様々な住民運動に取り組んできました。政治倫理条例に基づく「審査請求」や市立産院存続を求める直接請求運動は市政初でした。低所得者の介護保険料の引き下げの審査請求で引き下げを実現。国も翌年に引き下げ、地方から声をあげていく大切さを学びました。やむにやまれぬ思いで、生活保護の是正を求める審査請求の代理人として、多くの「却下取り消し」を実現。理不尽な国保料滞納世帯への保険証未交付問題は、国会議員とも連携し、改善を図ることが出来ました。

悔しかったのは、10万人を超える存続署名にも関わらず廃止された市立産院、もったいない「産業文化会館取り壊し」広場化。現在進行中の時代逆行のMICE建設。これからも、住民と共に、粘り強く理不尽に立ち向かい、いのち・暮らしを守るために力を尽くします。

今こそ共産党市議団の出番

上野みえこ



今期もいよいよ終わりです。花畑地区再開発と産業文化会館解体、県民百貨店を追い出す桜町再開発・MICE整備の問題など、市政を大きく左右するようなムダづかい・ゆがみを繰り返し追求してきた4年間でした。

安倍政権のもと、集団的自衛権の法制化をすすめる戦争立法、暮らしや経済を破壊する消費税増税、原発の再稼働など、国民のいのち・暮らしを脅かす政治がまかり通っています。国の悪政の防波堤となって住民生活を守っていく地方自治体の役割がますます重要です。

市政史上最大のハコモノ・MICE整備をこのまますすめていいのか、国民健康保険・介護保険・子育て・教育、やるべき課題は山積しています。

市政のムダを削って要求実現へ、今こそ共産党市議団の力が必要とされる時です。引き続き、市民が主人公の市政へと、頑張っていく決意です。

「暮らし守れ」の声をまっすぐに届けた4年間

なすまどか



今期4年間は、福祉子ども委員会に所属し、国保料の値下げや介護保険料の負担軽減など、「暮らしを守れ」との声を真っ直ぐに届けてきました。こうしたなかで、市民の運動と職員の尽力により、障がい者へのガソリン券助成や高齢者生きがい作業所の存続などが実現できたこと、また、子ども医療費無料化の拡充や小中学校へのエアコン設置については市長公約に実を結び、実現の見通しが示されたことは、私にとっても大きな喜びです。

一方、市街地桜町再開発でのMICE施設整備が着々と進められるなかで、この4月にも着工される予定だった市民病院の建て替え工事が凍結されました。市民の命と健康を守る病院の耐震化や建て替えを後回しし、市街地再開発に莫大な税金を投入するような市政であっていいのか？

命と暮らしが最優先とされる市政こそが求められます。引き続き、「暮らしと命を守れ」の声が政治に実るよう、力を尽くす決意です。

日本共産党 市議会だより
 発行：日本共産党熊本市議団
 ますだ牧子 上野みえこ なすまどか
 熊本市中央区手取本町1-1 議会棟

NO. 943
 2015年3月29日号
 電話 328-2656
 FAX 359-5047
 メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp
 ホーム：http://www.jcp-kumamoto.com/

